

事務事業名		地域医療調査研究事業		☐ 実施計画掲載事業 ☒ 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間	
	施策名	10 地域医療の充実		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成21 年度～)	
	基本事業名	01 地域医療体制の充実		☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令				予算科目	
所属	部課名	生活福祉部国保年金課		会計	款
	課長名	佐藤 信一		項	目
	係名	地域医療係	電話	27-3111	事業
	担当者	佐藤淳	内線	149	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		・県立大船渡病院の医療体制に関する情報を共有しあい、医療体制に係る充実・強化対策について協議し、必要な事業を実施する。 ・主な業務は、情報の収集、会議の開催、要望活動等必要な事業の実施、資料の作成、報酬等の支払等である。 ・事業費は、要望活動等出張旅費、意識啓発用チラシ印刷代、会議出席者への報酬及び費用弁償等として計上している。		事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
全体計画(※期間限定複数年度のみ)		国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0		総投入量 (千円) 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位 ア 医療体制充実の要望回数 回 イ ウ	
前年度実績(前年度に行った主な活動)			
・県立大船渡病院の医師充実対策について要望			
今年度計画(今年度に計画している主な活動)			
・県立大船渡病院の医師充実対策について要望			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・県立大船渡病院の診療体制及び開業医との連携体制		名称 単位 カ 県立大船渡病院医師数 人 キ ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・県立大船渡病院医師数の増加 ・常勤医師不在診療科をなくす		名称 単位 サ 常勤医師不在診療科数 科 シ 新たに常勤医師が配置された診療科数 科 ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
・医療サービスの充実			

(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	0	0	0	90	90	90
			事業費計 (A)	千 円	0	0	0	90	90	90
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	20	45	45	70	70	80	
		人件費計 (B)	千 円	80	180	180	280	280	320	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	80	180	180	370	370	410	
⑤活動指標			ア	回	1	1	1	2	1	2
			イ							
			ウ							
⑥対象指標			カ	人	61.650	61.600	58.6	63	64	65
			キ							
			ク							
⑦成果指標			サ	科	6	7	7	5	4	3
			シ	科	0	0	3	1	1	1
			ス							

事務事業ID	0133	事務事業名	地域医療調査研究事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

県立大船渡病院において、平成19年度に呼吸器科や神経内科等の常勤医師不在に加え、循環器科の常勤医師が減員され、夜間や休日時の心臓疾患による重症患者が釜石や気仙沼の公立病院に搬送される事態となったことから、県立大船渡病院医療体制充実対策協議会を設置し、県立大船渡病院の医療体制の改善に取り組もうとしたもので、平成22年度には、協議会の中で、県立大船渡病院の勤務医の過重な労働環境が話され、市として夜間医療体制を含む今後の医療体制について検討することを要請され、検討会を設置し、協議した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

住民への意識啓発のための広報活動を実施したことにより、救命救急センターの医師確保の妨げと言われていた軽症者の夜間利用が減少した。岩手県等関係機関に対する積極的な要望活動により、産婦人科の県立大船渡病院への集約化により常勤医師が増員され医療体制が充実した。また、平成21年度に検討会を立ち上げ検討会を開催し、休日当番医を含む時間外診療体制について気仙医師会の会員に対するアンケート調査を実施し、初期救急への開業医の対応について検討したが、夜間診療体制構築までには至っていない。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

勤務医の過重な勤務状況についての理解度が進み、医療サービスの充実のために住民が取り組むという意識の醸成につながっている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 診療体制の充実、市民の生涯にわたる健康づくりの推進に繋がる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 地域医療を守ることは、住民の生涯にわたる健康づくりには欠かせないものであり、住民の願いである。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 効率的な医療体制を確保するために妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 類似の会議・検討会を統合するなど、組織構造を簡素化することで、協議を円滑に進めるよう努める。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 医療体制の充実は放棄できない
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 地域医療の確保は、国、県及び市町村にとって最優先課題の一つでもあり、事業の削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 職員は1人(兼務)であり、削減余地なし。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 地域医療を守ることは、受益対象は全市民であることから、公平、公正な事業である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																						
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
県立病院運営協議会(県立病院主催)や気仙圏域医療連携推進会議(保健所主催)の検討内容や気仙広域環境未来都市医療・介護・保健・福祉連携協議会の検討状況を踏まえ、事業内容の検討が必要である。																								

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	事業内容を検討しながら、継続して事業を実施する。